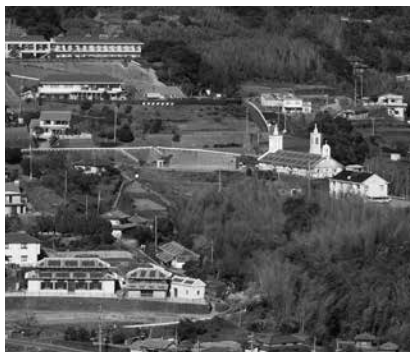


「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」 世界文化遺産登録へ前進 ～長崎の宝が世界の宝へ～



外海の出津集落



外海の大野集落



大浦天主堂

国際連合教育文化機関(ユネスコ)の諮問機関「国際記念物遺跡会議(イコモス)」が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を世界文化遺産登録にふさわしいと勧告。勧告を受け、市内の関係者からは喜びの声が上がりました。

この遺産は、17世紀から19世紀にかけて日本でキリスト教が禁じられていた中で、長崎と天草地方において日本の伝統的宗教や一般社会と共生しながら、潜伏キリシタンが密かにキリスト教への信仰を続けた証

となる貴重な遺産群です。

長崎市には、「外海の出津集落」「外海の大野集落」「大浦天主堂」の3資産があります。

今後は、6月24日から7月4日まで開催されるユネスコ世界遺産委員会で、登録の可否について審議される予定です。審議の様子は、外海の遠藤周作文学館で行うパブリックビューイングでご覧いただけますので、ぜひご参加ください。

■問い合わせ 世界遺産推進室 ☎829-1260

原子雲の下で何が起きたのか。 核兵器のない未来の実現に向けて、世界へ訴えました



演説する田上市長



平和を願い、子どもたちと折り鶴を作りました



ローマ法王に親書を渡しました

4月23日からスイス・ジュネーブで核不拡散条約(NPT)再検討会議の第2回準備委員会が開催されました。平和首長会議の副会長として参加した田上市長は、各国代表や国連関係者を前に、核兵器廃絶を強く訴えました。また、被爆の実相を知ってもらうために、各国の指導者に被爆地訪問も要請しました。

27日からは、イタリアのエミリア・ロマーニャ州を訪問し、長崎平和特派員とよしまあやの豊島文さん、マッシモ・ベルサーニさん夫妻が平和教育の一環として取り組んでい

る「平和の折り鶴」プロジェクトに参加するなどして、現地のかたや子どもたちと交流しました。

また、5月2日、バチカンを訪れてローマ法王の一般謁見に参列。これまでの平和へのメッセージを世界に発信しておられることへの謝意と被爆地訪問を要請しました。

今後も関係機関と連携しながら、核兵器廃絶に向けた取り組みを続けていきます。

■問い合わせ 平和推進課 ☎844-9923